

At

your

side.



よりよい地球環境を、あなたとともに。  
[www.brotherearth.com](http://www.brotherearth.com)

## 株主通信

126期 第2四半期末号

2017年4月1日▶2017年9月30日

ブラザーの今	1
トップインタビュー	3
事業セグメントの営業概況	7
教えて！マシナリー事業	9
特集 ブラザーの挑戦	11
ブラザーの取り組み	12
会社の概要	14
株式の状況	裏表紙

 JPX-NIKKEI 400

JPX 日経インデックス400 構成銘柄

証券コード 6448

# At your side.

あらゆる場面でお客様第一に考え、優れた価値を創造し、  
迅速にお届けしたい。

“At your side.”という言葉には、  
そんなブラザーグループの思いが込められています。

この“At your side.”の精神のもと、  
ブラザーグループは、

地球環境に配慮した取り組みを行うとともに、  
世界中のお客様が実現したい新しいワークスタイルや  
ライフスタイルを、  
製品やサービスを通じて応援していきます。

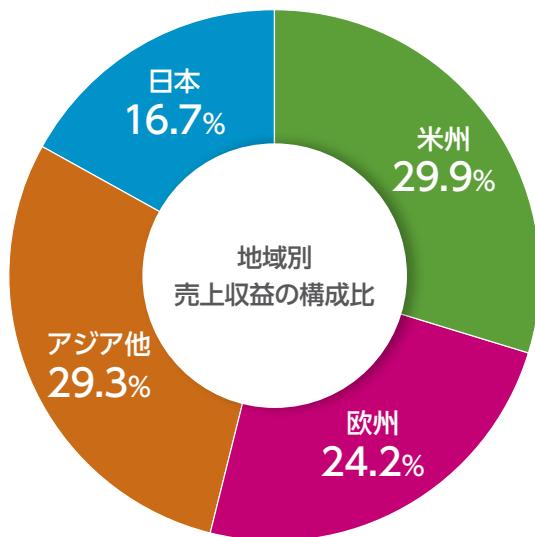
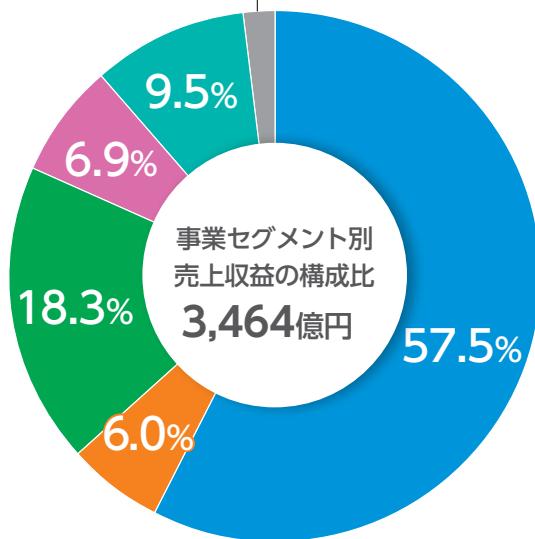


よりよい地球環境を、あなたとともに。  
[www.brotherearth.com](http://www.brotherearth.com)

- ※ この株主通信に記載の業績見通しは、作成時点で入手可能な情報に基づく当社判断による見通しであり、さまざまなリスクや不確実な要素を含んでいます。実際の業績は、これらの見通しとは異なる結果がありうることをご承知おきください。
- ※ この株主通信に記載の表示金額は、億円未満を四捨五入、百万円未満を切り捨てて表示しています。また、各種比率は小数点第二位を四捨五入して表示しています。

## 事業展開 (2017年度 第2四半期累計)

その他事業 1.7%



## 57.5% プリンティング・アンド・ソリューションズ (P&S) 事業

プリンティング技術を追求し、新しいワークスタイルを提案します。コンパクト性を追求したプリンターのほか、1台にプリンター・ファクス・コピー・スキャナーなどの機能を搭載した複合機、使いやすさにこだわったラベルライターなどがあります。

(主要製品等) プリンター、複合機、スキャナー、ラベルライター、ラベルプリンター



## 6.0% パーソナル・アンド・ホーム (P&H) 事業

家庭用ミシンを中心としたソーイング関連の製品とサービスで、手づくりの楽しさを提案します。また高級刺しゅうミシンにおいては、ITを活用したサービスを通じて手づくりの新しい可能性を広げます。

(主要製品等) 家庭用ミシン、カッティングマシン



## 18.3% マシナリー事業

使いやすさ、高品質な縫製、省エネルギーを実現した工業用ミシンや、自動車や二輪車、スマートフォンなどの部品加工業界に最適な工作機械に加え、幅広い製品バリエーションを持つ減速機や歯車などを通じて、お客様の生産性向上と新たな価値創出をお手伝いしています。

(主要製品等) 工業用ミシン、ガーメントプリンター、工作機械、減速機・歯車



## 6.9% ネットワーク・アンド・コンテンツ (N&C) 事業

業務用通信カラオケシステムの提供を行うとともに、通信カラオケで培ったコンテンツ・配信技術を活用したサービスや製品を提供することで、新たな顧客価値を追求しています。

(主要製品等) 通信カラオケシステム、カラオケ店舗運営、コンテンツサービス



## 9.5% ドミノ事業

ペットボトル、缶、食品の包装などに、賞味期限、ロット番号などを印字する印刷機を提供するコーディング・マーキング事業と、商品パッケージの多種少量化や短納期化の要請に応えたデジタル印刷事業を展開しています。

(主要製品等) 産業用インクジェットプリンター、デジタル印刷機



未来永劫に繁栄する  
“強いブラザー”となるため、  
持続的に収益を  
生み出すことのできる  
筋肉質な複合事業企業を目指し、  
変革に挑戦します。

代表取締役社長 小池利和



まず、2017年度第2四半期連結累計期間の業績と通期の見通しについて教えてください。

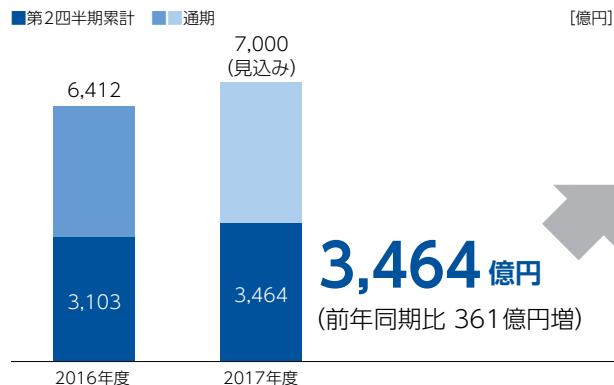
当第2四半期連結累計期間の連結業績は、モノクロレーザー製品やカラーレーザー製品など、通信・プリンティング機器がグローバルで堅調に推移したことに加え、IT関連顧客向けの大口受注の効果を受け、産業機器が好調に推移したことなどにより、売上収益は、前年同期比11.6%増の3,464億円、事業セグメント利益は、前年同期比12.8%増の391億1千5百万円となりました。営業利益は、期末レートが円安になったことに伴い、為替予約に関する評価損を計上したことで前年同期比13.4%減の313億1千万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比16.0%減の226億8千2百万

円となりました。

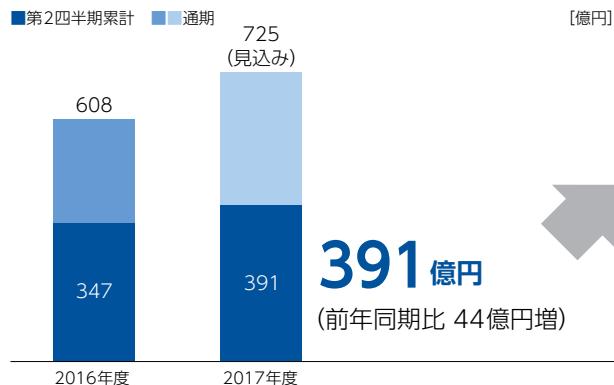
2017年度通期の見通しについては、主力となる通信・プリンティング機器が堅調であることに加え、IT関連顧客向けが好調な産業機器の見通しを引き上げたことなどにより、売上収益は前期比9.2%増の7,000億円、事業セグメント利益は前期比19.3%増の725億円、営業利益は前期比11.6%増の660億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は前期比2.7%増の485億円を見込んでおり、事業セグメント利益、営業利益はいずれも過去最高となる見通しです。

## ■ 第2四半期連結累計期間の業績

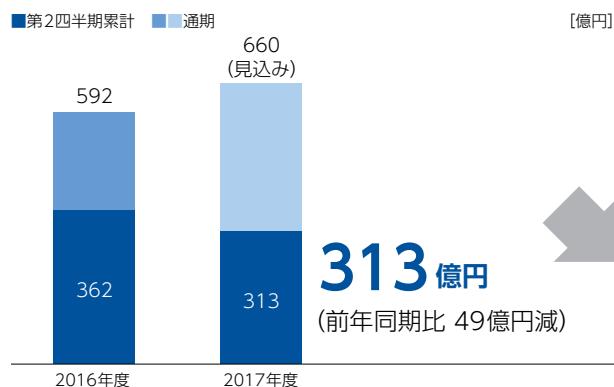
### 売上収益



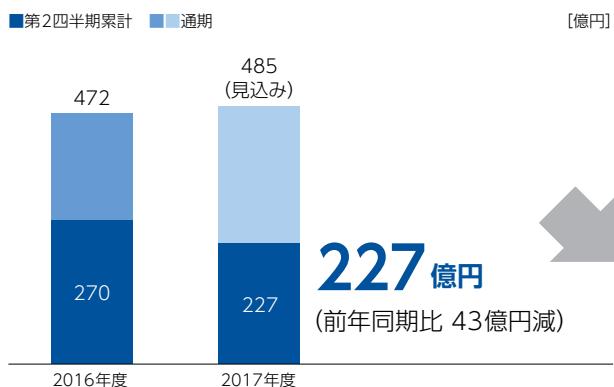
### 事業セグメント利益\*



### 営業利益



### 親会社の所有者に帰属する四半期(当期)利益



\* 売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しており、日本基準における営業利益に代替するものとして利用しています。

※平均為替レート

2016年度第2四半期累計：1米ドル=106.43円、1ユーロ=119.12円

2017年度第2四半期累計：1米ドル=111.42円、1ユーロ=126.63円



中期戦略「CS B2018」について、  
現在の進捗状況を教えてください。

### 1. 事業の変革

プリンティング中心の事業構成から、複合事業企業を目指したポートフォリオ経営への事業構成の変革

### 2. 業務の変革

限られた資源の最大活用と、徹底的な効率化を実現し、その資財で未来に向けた顧客価値創出活動を増強

### 3. 人財の変革

ブラザーDNAの伝承に根差した、未来永劫の繁栄を牽引する次世代人財育成と、グループ人財活用の最大化

中期戦略「CS B2018」では、「変革への挑戦」をテーマに掲げ、グループ全体で「事業・業務・人財」の3つの変革にチャレンジするとともに、現在のプリンティング事業中心の体制から産業用領域や新規事業に重点を置いた、複合事業への転換を目指しています。中期戦略「CS B2018」の初年度である2016年度は、P&S事業を中心に収益性改善に向けた取り組みを推進した効果などにより、円高によるマイナス影響はあったものの、当初の想定以上となる営業利益を達成しました。これを受け、「CS B2018」の最終年度である2018年度の業績目標を、売上収益6,850億円、営業利益630億円へと変更していますが、2017年度も引き続き堅調なことから、1年前倒しで「CS B2018」の業績目標を達成する見込みとなっています。

3つの変革への取り組み状況ですが、「事業の変革」においては、成長領域事業および新規事業へのリソースのシフトと先行投資を計画通り進め、ドミノ事業も順調に推移しています。「業務の変革」においては、新規設計支援システムの導入による開発プロセスの効率化を中心に、モノ創り全体の効率を最大化するシステム構築をさらに推進し、あらゆる業務効率の改善に取り組んでおります。「人財の変革」においては、これまで以上に多様な人財が能力を発揮できる制度や環境を整え、サクセッションプランや若手登用プログラムを展開し、次世代経営人財、グローバル人財の育成や世代交代などに一層力を入れていきます。

残りの2年間で、これらの3つの変革をグループ一丸となって成し遂げ、時代や環境変化に迅速に対応し、変革に挑戦し続けるブラザーであり続けたいと考えています。

2018年度  
業績目標  
(2017年5月修正)

売上収益 **6,850億円**  
営業利益 **630億円**  
営業利益率 **9.2%**

※為替前提：1米ドル=108円、1ユーロ=116円  
※国際会計基準 (IFRS) 適用

## 【CS B2018】 P&S事業戦略

- ・SOHO市場でのポジション堅持
- ・SMBソリューション分野の重点強化
- ・新興国での利益ある成長
- ・効率化の徹底と利益貢献につながる重点投資による収益力強化

\*1 Small Office、Home Officeの略称。

\*2 Small Medium Businessの略称。小規模な事業所や中小企業、複数拠点に分散する企業のオフィスなど。

## プリンティングビジネスの状況について教えてください。

先進国のSOHO\*1市場では、モノクロレーザーやカラーレーザーなど多くのカテゴリーでシェアを維持・拡大しています。SMB\*2市場では、モノクロレーザーのハイエンドラインアップを一新し、競争力のある製品を販売することで、その成果が出始めています。また、欧米を中心に、お客様の印刷管理と消耗品自動配送などの契約型ビジネスが着実に成果をあげています。新興国では、モノクロレーザー事業に加え、インクジェット事業がインクタンクモデルを中心に計画を上回り、収益力強化に大きく貢献しています。

事業全体としては、業務の効率化の推進などさまざまな変革の実現により、「CS B2018」の初年度で計画以上の利益創出を実現しています。今後も「CS B2018」で定めたP&S事業戦略を着実に実行することで、全社のポートフォリオ経営を支える中核事業として、収益力と競争力を強化してまいります。

## ■ 1株当たり配当金

[円]



## 最後に、配当金について教えてください。

株主の皆さまへの利益還元については、財務戦略とのバランスを考慮しながら連結配当性向30%を目安に安定的な配当を実施しております。

2017年度第2四半期末の配当金につきましては、期初予想通り、1株当たり24円とさせていただきます。期末配当につきましても、期初予想通りの24円を予定しており、年間配当は、前年度から6円の増配となる、1株当たり48円を予定しております。なお、連結配当性向は、およそ26%になります。

# 事業セグメントの営業概況

## プリンティング・アンド・ソリューションズ (P&S) 事業

### 売上収益

#### 〈通信・プリンティング機器〉

主にSOHO市場向けのモノクロレーザー製品がグローバルで好調に推移したことに加え、重点強化分野であるSMB市場向けも、欧州を中心に堅調に推移しました。カラーレーザー製品も、高耐久モデルで新製品を投入した効果もあり、グローバルで堅調に推移しました。インクジェット製品は、市場全体は前年を下回る水準が続いているものの、新興国向けのインクタンクモデルの販売は計画を上回るペースで推移しました。加えて、円安による為替のプラス影響もあり、増収となりました。

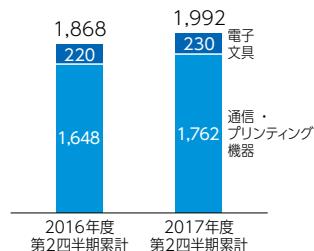
#### 〈電子文具〉

「ピータッチ」ブランドで展開するラベルライター・ラベルプリンターは、スマホアプリでラベル編集をする「P-TOUCH CUBE」が日本で好調に推移するなど、グローバルで堅調に推移したことに加え、円安による為替のプラス影響もあり、増収となりました。

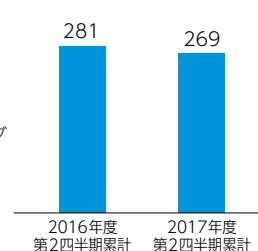
### 事業セグメント利益

製品販売が堅調に推移したものの、在庫未実現利益の消去の計算において、昨年プラスに働いた為替影響が今年は無くなったことにより、減益となりました。

売上収益  
**1,992** 億円



事業セグメント利益  
**269** 億円



## パーソナル・アンド・ホーム (P&H) 事業

### 売上収益

欧州での需要は堅調だったものの、米州やアジア地域において、需要が低迷した影響などにより、全体ではほぼ前年並みの水準となりました。

### 事業セグメント利益

研究開発費など、先行投資の増加の影響もあり、減益となりました。

売上収益  
**207** 億円



事業セグメント利益  
**4** 億円



## マシナリー事業

### 売上収益

#### 〈工業用マシン〉

アジア地域の需要が弱含んだものの、中国・欧州の需要が改善したことに加え、円安による為替のプラス効果もあり、増収となりました。

#### 〈産業機器〉

IT関連顧客向けの大口受注の効果に加え、注力している自動車関連市場向けも堅調に推移したことなどにより、大幅な増収となりました。

#### 〈工業用部品〉

工場の自動化に向けた設備投資の増加などを受け、減速機・歯車とも需要が拡大し、増収となりました。

### 事業セグメント利益

主に産業機器の増収に伴い、大幅な増益となりました。

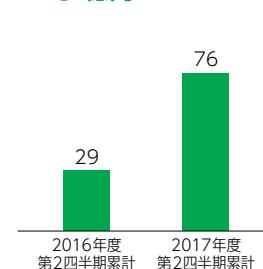
#### 売上収益

**635** 億円



#### 事業セグメント利益

**76** 億円



## ネットワーク・アンド・コンテンツ(N&C)事業

### 売上収益

店舗事業および通信カラオケ機器の新モデルが堅調に推移したこともあり、前年並みの水準となりました。

### 事業セグメント利益

新製品の投入効果や経費削減などの取り組みの効果もあり、増益となりました。

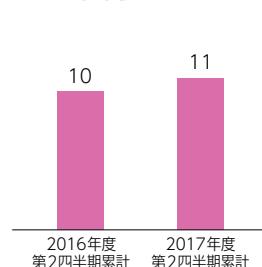
#### 売上収益

**240** 億円



#### 事業セグメント利益

**11** 億円



## ドミノ事業

### 売上収益

コーディング・マーキング機器、デジタル印刷機とも、グローバルで堅調に推移し、増収となりました。

### 事業セグメント利益

増収による効果により、大幅な増益となりました。

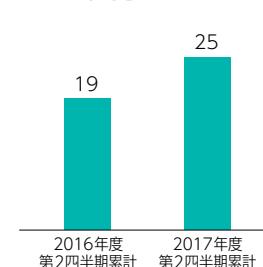
#### 売上収益

**330** 億円



#### 事業セグメント利益

**25** 億円



# 教えて！ マシナリー事業

今回は、中期戦略において成長領域事業に位置付けられ、今後の成長が期待されるマシナリー事業についてご説明します。

マシナリー事業は、工業用マシン、産業機器、工業用部品の3つの分野で構成されています。

## 工業用マシン分野

## 産業機器分野

## 工業用部品分野

概要

アパレル製品だけでなく、革製品やエアバッグなどの縫製に適した工業用マシンの製造・販売を行っています。

自動車関連部品やスマートフォンなどの部品加工を行う小型のマシニングセンタの製造・販売を行っています。

さまざまな業界向けに減速機や高精度歯車の製造・販売を行っています。

事業の強み

- ▶IoT時代を見据え、ネットワーク対応可能な「NEXIO」シリーズの展開
- ▶プリンティング技術を活用した衣類向けのガーメントプリンター事業

- ▶コンパクトでありながら高い生産性と環境性能
- ▶大型部品の加工や、1台で旋削加工とマシニング加工ができる機種など豊富なラインアップ

- ▶国内トップクラスの製品ラインアップと短納期対応・特注品対応力
- ▶業界トップクラスの生産設備とすべての工程を一貫生産する体制による高い生産力



S-7300A

GTX



M140X2

S500X1



減速機

高精度歯車

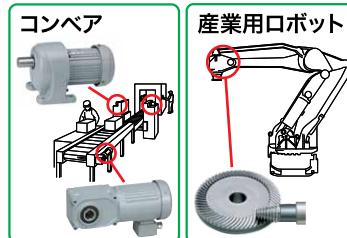
使用例



生地の縫製に使われる工業用マシン



金属を削る工作機械



コンベア

産業用ロボット

## Q 生産拠点は？

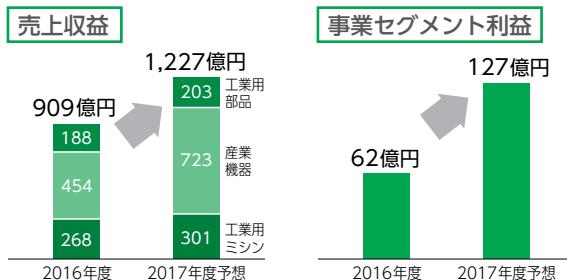


## Q 今後の見通しは？

工業用マシンは、拡大する東南アジア地域の販売力を強化するとともに、次世代縫製機器のブランド「NEXIO」シリーズを全世界に展開していきます。また、縫製工場の自動化ニーズ・IoT対応ニーズに応えられる製品を開発していきます。

産業機器は、需要の変動が大きいIT関連顧客に依存せず、安定的な成長が期待できる自動車関連顧客に対する売上拡大を見据え、生産効率の高い小型の工作機械への置き換えを加速させる製品を開発します。

工業用部品は、需要の拡大が期待される減速機・歯車の製品競争力の強化や海外市場への販路拡大などを進めていきます。





## HL-L9310CDWが、BLI選定の [Summer 2017 Pick Awards] を受賞

2017年8月、中小規模のオフィス向けカラープリンター「HL-L9310CDW」が、米国の独立評価機関BLI\*選定の「Summer 2017 Pick Awards」を受賞しました。BLIは、世界中で販売されているビジネスユーザー向けドキュメント機器を対象とする大手調査機関で、50年以上の歴史を有し、企業のIT部門の責任者などが複合機やプリンターを購入する際の参考情報を提供しています。ブラザーはこうした評価を励みとし、今後もお客様のご期待に応える製品をお届けしていきます。

\* Keypoint Intelligence社の事業部で、ビジネスユーザー向けオフィス機器の独立評価機関。



表彰状を受け取る社長の小池（左）



Brother HL-L9310CDW  
Outstanding Color Printer for SMBs

### 「HL-L9310CDW」の ココがすごい！

- ・優れた画質
- ・購入しやすい価格
- ・モバイル端末との親和性
- ・直感的に操作できる  
タッチパネル



HL-L9310CDW



## 圧倒的な生産性を実現した ガーメントプリンター「GTX」を発売

2017年9月、従来機に比べ3分の1の印刷時間を実現したガーメントプリンター「GTX」を発売しました。ブラザーの最先端技術を集約させた新インク「Innobella Textile（イノベラ テキスタイル）」により、色域の拡大・肌触りの向上を実現し、従来機種を上回る高品質な印刷が可能となりました。印刷時間の短縮により、店舗でオンデマンド印刷をする場合も、より少ない待ち時間で商品をお客様にお渡しすることができます。

### WHAT?

#### ガーメント プリンターとは？

パソコン上で作成した  
イメージをTシャツなどへ  
直接印刷できる  
衣類用高機能  
プリンターのこと。



GTX

### 「GTX」のココがすごい！

- ・従来機に比べ3分の1の印刷時間
- ・明るく鮮やかな色を表現する  
高精細プリント
- ・印刷ミスを防止するカラーパネル

「健康経営銘柄」に選定されました

## ブラザーの健康経営

「健康経営銘柄」とは？

経済産業省と東京証券取引所が、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業を原則1業種1社選定する制度です。



人事部 健康管理センター  
センター長 武藤 清

2017年2月、ブラザーは経済産業省と東京証券取引所が共同で実施する「健康経営銘柄2017」の健康経営銘柄に選定されました。健康増進基盤となる活動に加え、2016年9月に「ブラザーグループ健康経営理念」を制定し、積極的な取り組みを展開していることなどが高く評価されたものです。

ブラザーでは、会社・労働組合・健康保険組合が日頃から三位一体となって従業員の健康管理に取り組んでおり、産業医や保健師に気軽に相談できる健康管理センターや、就業中にも受診できるブラザー記念病院を運営するなど、健康を管理しやすい環境を整えています。従業員のがん検診（総合健診）の受診率は88%、2次検査の受診率も70%と高い水準にあります。

今後も、「優れた健康経営は企業価値向上につながる」という考えのもと、継続的かつ積極的な取り組みを進めていきます。



本社前のブラザー記念病院

### 産業医 従業員を“適正配置”しています！

病気を抱える従業員には、医学的な知見から、適切な仕事に従事しているかを判断し、必要に応じて業務内容や環境を変えることをアドバイスしています。

持病があっても明るく元気に働ける職場づくりに貢献することで、ブラザーグループの成長につなげていきます。



人事部 健康管理センター  
統轄産業医 上原 正道

### 【主な取り組み】

#### 健康教室

従業員が自立して健康づくりに取り組むためのきっかけづくりとして、各種エクササイズなど健康教室を開催しています。健康意識の底上げとともに、職場のコミュニケーション向上にもつながっています。

#### 受動喫煙対策

2014年に受動喫煙対策ワーキンググループが発足、2016年から建物内禁煙をスタートさせ、社員の禁煙をサポートするさまざまな取り組み（スマイルスワン）を実施しています。2020年までには敷地内全面禁煙化と、従業員の喫煙率10%以下を目指します。

# ブラザーの取り組み

## 株主さま向けイベントの活動報告

今年度から株主さまとのコミュニケーション活動を始めました。

株主の皆さまにブラザーへの理解をより深めていただくため、今後も継続的に取り組んでいきます。

### Brother Earth講演会

株主アンケートで寄せられた「ブラザーについてもっと知りたい、もっとコミュニケーションをとりたい」という声にお応えし、2017年8月2日にブラザーとしては初の個人株主さま向けイベントを開催し、235名の方にご参加いただきました。

イベントは2部構成で行われ、ブラザーグループの環境保全活動紹介や「絶滅動物園\*」のプロデューサー・佐々木シュウジ氏による東山動物園での取り組みの講演のあと、ギネス®認定されている世界最大のプラネタリウムドーム「Brother Earth(ブラザーアース)」での鑑賞会を開催しました。

参加者の方々からは、「ブラザーが環境問題に積極的に取り組んでいることが良く理解できた」などの言葉をいただきました。

\* 人間が絶滅させた動物と、絶滅危機に瀕している動物たちを紹介するプロジェクト。



会場は名古屋科学館のサイエンスホール

### 展示館 ブラザーコミュニケーションスペース見学会

2017年9月8日、ブラザーの展示館見学会を開催しました。個人株主とその同伴者、計29名の皆さまに、109年目を迎えたブラザーの歴史や事業内容、業績の推移などをご紹介しました。さらに、紙や布を切るカッティングマシン「スキャンカット」を使って色画用紙を雪の結晶や動物のモチーフにカットしたり、ラベルライター「P-TOUCH」を使って自分の名前のラベルを作成したりするなど、ブラザーの製品を体験していただきました。イベント後、参加者の方々からは「ミシン中心の事業展開と思っていた。海外への進出、自然保護に力を入れていることがわかった」などの声を頂戴し、ブラザーに関する知識と理解を深めていただくことができました。



製品体験をする参加者の皆さま

## IR活動報告

### 機関投資家向けに P&S事業の説明会を開催

2017年5月24日に、P&S事業について理解を深めていただくことを目的に機関投資家向けP&S事業説明会を証券会社との共催で開催しました。

当日は、代表取締役専務執行役員P&S事業統括の石黒より、機関投資家の皆さまに、事業方針および中期戦略の進捗についてご説明しました。

説明会では、投資家の方々から多くの質問をお受けし、P&S事業への関心の高さがうかがえました。



説明会の様子

### 株主アンケートのご回答のお礼

第125期決算号にて実施した「株主アンケート」では、2,705名(17.7%)の方からご回答をいただきました。貴重なご意見とご協力、誠にありがとうございました。

昨年の株主アンケートで「もっとブラザーとコミュニケーションをとりたい」というご意見を多数頂戴したため、今年度は、株主さま向けイベントを開催いたしました。

これからも皆さまのご意見を誠実に受け止め、今後の経営やIR活動に反映させていきたいと考えております。

# 会社の概要

## 基本データ (2017年9月30日現在)

商号 ブラザー工業株式会社 (BROTHER INDUSTRIES, LTD.)  
 本社 〒467-8561 名古屋市瑞穂区苗代町15番1号  
 TEL: 052-824-2511 (代表)  
 設立 1934年1月15日  
 資本金 192億9百万円  
 上場証券取引所 東証1部、名証1部  
 従業員\* 連結: 38,252名 単独: 3,935名 \*正社員のみ

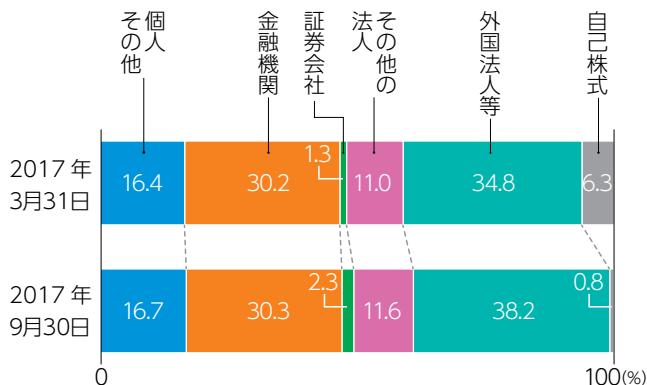
## 役員 (2017年10月1日現在)

取締役	代表取締役社長	小池 利和	執行役員	常務執行役員	松本 勇美夫
	代表取締役 専務執行役員	佐々木 一郎			服部 親将
		石黒 雅			若原 宏之
	取締役 常務執行役員	神谷 純		執行役員	久野 光康
		川那辺 祐			鈴木 雅彦
		只 雄一			星 真
	社外取締役	西條 温			桑原 悟
		服部 重彦			村上 泰三
		深谷 紘一			鈴木 剛
		松野 聰一			小出 哲郎
		竹内 敬介			長谷川 泰之
					佐藤 龍也
					伊藤 敏宏
					杉本 吉市
				グループ常務執行役員	ナイジェル ボンド
					三輪 祐司
				グループ執行役員	武田 進
					野地 勲
					池田 和史
					三島 勉
監査役	監査役(常勤)	藤井 宗高			
		日野 圭一			
	社外監査役	海野 隆雄			
		有田 知徳			
		小野木 孝二			

# 株式の状況

## 株式の分布状況 (2017年9月30日現在)

発行可能株式総数 600,000,000株  
 発行済株式総数 262,220,530株  
 株主総数 14,959名



## 大株主 (上位10名) (2017年9月30日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本生命保険相互会社	11,438	4.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)※	11,376	4.34
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY※	11,343	4.33
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)※	9,310	3.55
株式会社三井住友銀行	7,398	2.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)※	4,611	1.76
住友生命保険相互会社	4,499	1.72
ブラザーグループ従業員持株会	4,218	1.61
GOVERNMENT OF NORWAY※	4,218	1.61
STATE STREET BANK WEST CLIENT — TREATY 505234※	3,867	1.48

注1: 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。

注2: 持株比率は小数点第三位を四捨五入して表示しています。

注3: ※印のある株主の所有株式は、すべて当該各社の信託業務にかかる株式です。

## 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年 3月31日  
 定時株主総会 毎年 6月  
 期末配当金受領株主確定日 3月31日  
 第2四半期末配当金受領株主確定日 9月30日  
 基準日 3月31日  
 公告掲載URL <http://www.brother.co.jp/investor/>

※ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に公告します。

株主名簿管理人/特別口座の口座管理機関  
 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 東京都府中市日鋼町1-1  
 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)

※株主さまの住所変更その他各種手続きにつきましては、株主さまご自身が口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にて承りますので、詳細は各口座管理機関へお問い合わせください。

※特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社までお問い合わせください。

## IRウェブサイトのご案内

当社IRウェブサイトでは、「個人投資家の皆様へ」ページなど、コンテンツの拡充を進めています。最新のIR情報など、さまざまな情報を提供しておりますので、ぜひご覧ください。

<http://www.brother.co.jp/investor/index.htm>

## ブラザー工業株式会社

本社 〒467-8561 名古屋市瑞穂区苗代町15番1号

<http://www.brother.co.jp/>



環境に優しい「水なし印刷」を採用。大気中に揮発性有機物を排出しません。

VOC FREE

インキの石油系溶剤を大豆油主体とした植物系溶剤に100%置き換え、VOC(揮発性有機化合物)フリーとしました。

